

# 『学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル

～「学校の新しい生活様式」～(2020.9.3 Ver.4)』より

【具体的な活動場面ごとの感染症予防対策】

当別町立西当別中学校 学校保健委員会

## 1. 各教科等について

各教科における「感染症対策を講じてもなお感染のリスクが高い学習活動」として、以下のよう  
な活動が挙げられます（「★」はこの中でも特にリスクの高いもの）。

各教科等	活 動
共通	「生徒が長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等」 「近距離で一斉に大きな声で話す活動」(★)
理科	「生徒同士が近距離で活動する実験や観察」
音楽	「室内で生徒が近距離で行う合唱」(★) 「リコーダー等の管楽器演奏」(★)
美術	「生徒同士が近距離で活動する共同制作等の表現や鑑賞の活動」
技術・家庭	「生徒同士が近距離で活動する調理実習」(★)
保健体育	「生徒が密集する運動」(★) 「近距離で組み合ったり接触したりする運動」(★)

### 【レベル2地域】

上記の「感染症対策を講じてもなお感染のリスクが高い学習活動」は、可能な限り感染症対策を  
行った上で、リスクの低い活動から実施することを検討します。

感染予防のために、三密を避けながら授業や放課後活動を行います。

- ①教室の換気を徹底
- ②こまめな手洗いを徹底
- ③対面形式でのグループワークの工夫
  - ・短時間で行なう
  - ・距離をとる
  - ・文字で表現する など
- ④実験や観察、作業（理科室、家庭科室、技術室、美術室等）
  - ・入室前、作業前に手洗いを徹底
  - ・1つのテーブルに座る人数を減らす（間隔をとる）
  - ・必要以上に会話をしない
- ⑤音楽室内での合唱、器楽演奏は避け、体育館や屋外など換気の良い場所で行う
- ⑥家庭科での調理実習は行わない

## 2. 部活動

### 【レベル2地域】

可能な限り感染症対策を行った上で、リスクの低い活動から実施します。

(全体を通じての留意事項として)

- ①生徒の怪我防止には十分に留意します。
  - ②発熱等の風邪の症状が見られる時は、部活動への参加を見合わせ、自宅で休養するよう指導します。
  - ③生徒の健康・安全の確保のため、生徒だけに任せるのではなく、教師が活動状況を確認します。
  - ④活動時間や休養日については、部活動ガイドラインに準拠し、実施内容等に十分留意します。
  - ⑤活動場所については、可能な限り屋外で実施します。  
　　<体育館など屋内で実施する必要がある場合>
    - ・こまめな換気や消毒液の使用（消毒液の設置、生徒が手を触れる箇所の消毒）を徹底します。
    - ・長時間の利用を避け、十分な身体的距離を確保できる少人数による利用とします。
    - ・屋内において多数の生徒が集まり、呼気が激しくなるような運動や大声を出すような活動等は避けます。
  - ⑥共用の用具を扱う際は、使用前後に手洗いを行うとともに、生徒間で不必要に使い回しをしないよう指導します。
  - ⑦部室等の利用については、短時間の利用とし、一斉に利用することは避けるよう指導します。
  - ⑧運動部活動の実施にあたっては、体育の授業における留意事項を踏まえます。
  - ⑨運動部活動でのマスクの着用については、体育の授業における取扱いに準じて指導します。
- 以上のほか、文部科学省作成のQ&Aで示している内容に留意して実施します。

## 3. 給食

給食の配食を行う生徒及び教職員は、以下の事項について毎日点検し、給食当番活動を行わせるのに適切でないと認められる場合は、給食当番を代えるなどの対応をとります。

- ・下痢、発熱、腹痛、嘔吐等の症状の有無
- ・衛生的な服装をしているか
- ・手指は確実に石けん等で洗浄、消毒したか

また、生徒全員の食事の前後の手洗いを徹底します。会食に当たっては、飛沫を飛ばさないように机を向かい合わせにしない、または会話を控えるなどの対応をとります。

## 4. 図書館

学校図書館は、生徒の読書の拠点として、また学習・情報の拠点として、学校教育における重要な機能を果たしています。図書館利用前後には手洗いをするというルールを徹底させ、また生徒の利用する時間帯が分散するように工夫し、図書館内での密集を生じさせない配慮をした上で、貸出機能を維持するよう取り組みます。

## 5. 清掃活動

清掃活動は、学校内の環境衛生を保つ上で重要です。一方で、共同作業を行うことが多く、また共用の用具等を用いるため、換気のよい状況で、マスクをした上で行います。掃除が終わった後は、必ず石けん等を使用して手洗いを行うよう指導します。

## 6. 休み時間

休み時間中の生徒の行動には、教員の目が必ずしも届かないことから、生徒本人に感染症対策の考え方を十分理解させるとともに、地域の感染状況や学校の状況をふまえて、休み時間中の行動について、「密接」を避けるなど指導します。

### 【レベル2地域】

トイレ休憩については混雑しないよう動線を示して実施します。また、廊下で滞留しないよう、私語を慎むなど指導します。

## 7. 登下校

登下校時には、上記の「休み時間」と同様、教員の目が届きづらいことに加えて、特に交通機関やスクールバスへの乗車中は、状況によっては「3つの密」が生じうることを踏まえ、以下のような指導をします。

- 校門や玄関口等での密集、密接とならないようにする。
- スクールバスを利用するにあたっては以下のことに留意する。
  - \* 利用者の状況に配慮しつつ、定期的に窓を開けて換気を行う。
  - \* 乗車前に家庭において検温し、発熱が認められたら乗車をしない。
  - \* 利用者同士の座席を離し、それが難しい場合は、会話を控える。
  - \* マスクの着用について徹底する。
  - \* 手洗いや咳エチケット等を徹底する。